



本業を通じた貢献

品質向上と製品安全の確保

品質保証

当社グループの品質方針である「顧客第一、品質第一を念頭におき、信頼性の高い製品およびサービスを提供する」の実現に向けて、その理念をさらに深化させていきます。そのために、品質管理基準の再整備を行い、「リケンスタンダード」のグループ内への浸透を図るとともに、自動化を取り入れたグローバル品質保証体制の構築を推進していきます。

環境への取り組みにおいては、すべての企業活動において環境との調和を重視し、地球環境の保全と持続可能な社会の実現を目指します。その一環として、環境マネジメントシステムを構築し、関連法規の遵守にとどまらず、自主的な規定の整備、継続的な改善、環境汚染の予防および環境保全活動の推進に取り組みます。また、適切かつ正確な情報開示を通じて、社会からの信頼と理解の獲得に努めます。

品質保証体制

当社は品質方針のもと、ISO9001に準拠したもののづくりに取り組んでいます。海外連結子会社を含む全生産拠点と連携し、毎週実施している品質改善活動を通じて、原材料の受入から製品の納入に至るまで全工程における品質管理の徹底を図っています。

2024年度は「工程異常ナビゲーター」などの品質管理ツールを海外連結子会社にも展開し、不具合の真因分析と情報

共有を強化しました。これにより、不具合事例の再発防止に向けた取り組みを一層推進しています。

品質改善活動

2024年度は品質のばらつきが少ない製品の提供を目指し、品質・出荷検査業務の自動化やデータを活用した標準化を推進しました。また、2023年度から継続している「グローバル品質管理コンソーシアム」の活動をさらに活性化させ、徹底した議論を通じて、グループ全体の品質管理レベルの向上を図りました。

2025年度は不良の定義および集計方法を見直して明確化し、海外連結子会社を含む全拠点で共通KPIに基づく品質管理体制の運用を開始します。さらに、標準偏差管理やCpk（工程能力指数）管理を活用して品質のばらつきを可視化し、生産工程の安定化を目指します。

生産工程における異常の早期発見には、センシング技術による変化点の可視化に加え、AIを活用した出荷検査を組み合わせることで、「不良を作らない」未然防止活動を強化します。具体的には、①MT法（マハラノビス・タグチシステム）による異常監視体制の構築、②統計ゲートウェイによる検査結果の自動転送と異常判定の運用強化など、DXを積極的に展開し、品質改善を進めていきます。

切に対応を行い、安定した物流体制を維持していきます。

購買体制

当社では次の購買方針のもと、お客様により安全で信頼性のある製品を提供するため、お取引先様各社の協力を得て、サプライチェーンを含めたより良い環境システム・品質システムの構築に努めています。また、環境方針・リケンテクノスグループグリーン調達基準に基づき、環境協力要請や各種コミュニケーションツールを活用し、持続可能なサプライチェーン構築を推進しています。さらに、継続的なコストダウンのために購入窓口を広げ、競争力のある原材料調達に努めています。

購買方針

1 公正な購買取引と選定	対等な立場で取引を行います。複数購買を原則とし、公正公平な取引機会を提供します。選定にあたっては、国内外を問わず、グローバルな視点から適正な品質、価格、環境への対応を考慮します。
2 パートナーシップの構築	お取引先様と良きパートナーとして、継続的な信頼関係を築き、共に価値を創出しながら持続的な成長を目指します。
3 関連法令の遵守と自主管理	お取引先様との機密情報の管理を徹底し、社会的規範に従い各国の関連法令を遵守して購買を行います。
4 持続可能な社会の実現	購入にあたっては、SDGsや気候変動への対応として環境配慮型原材料の積極採用と既存原材料からの転換などを推進します。
5 人権の尊重や不当な差別の排除	紛争地域や高リスク地域はもちろんその他地域においても、紛争の手助けや不法労働（人権侵害、児童労働など）により得られた原材料の調達は行いません。

グリーン調達基準

当社グループは地球環境保全活動を推進しており、その一環としてグリーン調達に取り組んでいます。

各国では製品や廃棄物からの環境汚染防止のために規制物質が年々更新、増加してきており、化学物質含有情報の把握・伝達が今まで以上に重要となっています。当社もリケンテクノスグループとしてのリケンテクノスグループグリーン調達基準の制定にあたり、より細部にわたり化学物質含有情報が入手できるように「化学物質含有情報シート」を作成し、運用しています。

当社グループはお取引先様と共同で環境保全を進め、資源の有効活用に取り組んでいます。

リケンテクノスグループグリーン調達基準は当社ホームページに掲載しています。
<https://www.rikentechnos.co.jp/csr/governance/scm/>

■ 適用範囲

当社グループ各社の製品を構成する原材料、および包装材料や離型紙、紙管などの副資材、設備の維持・管理に使用される潤滑油、機械油などを調達する場合における、お取引先様での環境管理システム構築および環境関連物質管理に適用します。

■ グリーン調達基準方針

- 環境管理システム構築のお願い
 - 経営者の環境に関する宣言・方針
 - 環境目標と計画の策定
 - 自己評価
- 環境パフォーマンス達成のお願い
- ご報告のお願い

■ 環境関連物質に関する調査及び報告のお願い

- SDS提出のお願い
- chemSHERPA提出のお願い
- リケンテクノスグループ指定の「化学物質含有情報シート」での開示と保証のお願い

製品の安定供給

当社は「Global One Company」を目指し、グローバルに競争力を有した優良サプライヤーとのパートナーシップ構築による安定調達の実現と、各海外連結子会社との更なる連携を通じたグローバル購買体制の強化を推進しています。

ESG基準によるサプライヤーの管理

当社は「ESG、SDGsに関するWEBアンケート調査」での回答結果をもとにESG、SDGsを重視したサプライヤー評価に取り組んでいます。アンケートの結果を踏まえ、お取引先様と共に改善を進めていきます。また、CO₂削減を実現するため、特に原材料のお取引先様と共に発注単位の見直しを行い、輸送回数の低減を推進しています。

物流における取り組み

日本の物流業界における労働力不足、労働時間の制限といった課題は、物流面に様々な影響を及ぼしています。当社は改正物流効率化法への対応を進めるとともに、安定した長距離配送を維持するための中継配送や倉庫の設置を検討しています。また、配送効率の向上によるCO₂排出量削減に取り組んでいます。